

投 稿 か ら 掲 載 ま で

編 集 委 員 会

編集委員会は、皆様の会誌「鉄と鋼」の内容を充実し協会活動をプロモートするために絶えざる努力を続けております。

毎月の月初めに開催される編集委員会においては、投稿論文などの校閲者（その分野の専門家）および査読者（編集委員）の決定、論文などの審査報告、掲載論文などの決定、会誌編集に関する諸事項の検討など、を行なっております。

しかし、最近会誌への論文掲載時期が遅れがちになっており、皆様から問合せをいただくこともよくあります。それらのお答えとして、ここに会誌編集の現状をお知らせしたいと思います。

左記の図は、投稿された原稿が会誌に掲載されるまでの一般的な過程を示しています。

これからもおわかりのように、よくまとめられている原稿（一回の修正で終るのが大部分）でも掲載までにはかなりの時間を要します。まして多くの問題を含んでいる原稿の場合には、再修正等のためにこれらの経路は更に複雑になってより多くの時間を要することは、もちろんであります。

表は、昭和 51 年における普通号向け原稿の受理数および審査、掲載状況の変化を示しています。ここ数年来投稿論文数は次第に増加しつつあり、昭和 50 年の 151 件に対し 51 年は 180 件（いずれも 12 月 31 日現在、特集号の原稿数含まず）と 20% 増になっております。

しかし一方では、いろいろな事情から会誌の頁数には制限がありますので、掲載までに要する時間が次第に増加する傾向にあるのが現状です。

編集委員会といたしましても、対応策の一つとして審査完了後の原稿は必ずしも原稿の受理日にこだわらず審査完了順に掲載して滞留時間をできるだけ短くしたいと考えておりますので、投稿者各位におかれましても投稿規程に従って十分に推こうされた簡潔な原稿をお送り下さるようお願いいたします。

なお、昨年 12 月より投稿規程の一部が変更になっておりますので、併せてお知らせいたします。

表. 投稿論文数に関する資料
(昭和 51 年 12 月 31 日現在)

| 年月 | 新着原稿数 | 審査中の原稿数 | 審査完了の原稿数 | 計 | 掲載数 | 決定号 |
|------|-------|---------|----------|-----|-----|---------------|
| 51-1 | 14 | 49 | 20 | 83 | 13 | Vol. 62 No. 6 |
| -2 | 11 | 56 | 17 | 84 | 14 | No. 7 |
| -3 | 12 | 57 | 13 | 82 | 12 | No. 8 |
| -4 | 20 | 50 | 16 | 86 | 13 | No. 9 |
| -5 | 14 | 54 | 15 | 83 | 13 | No. 10 |
| -6 | 21 | 60 | 11 | 92 | 11 | * No. 12 |
| -7 | 16 | 66 | 14 | 96 | | ** |
| -8 | 13 | 59 | 30 | 102 | 14 | No. 14 |
| -9 | 15 | 52 | 38 | 105 | 16 | Vol. 63 No. 1 |
| -10 | 23 | 50 | 38 | 111 | 17 | No. 2 |
| -11 | 6 | 52 | 30 | 88 | 16 | No. 3 |
| -12 | 15 | 53 | 21 | 89 | | * ** |
| | 180 | — | — | — | 139 | |

* 講演大会講演概要集 (Vol. 62, No. 11 および Vol. 63, No. 4)
** 特集号 (Vol. 62, No. 13 および Vol. 63, No. 5)
(特集号原稿件数は上表に含まれていません)

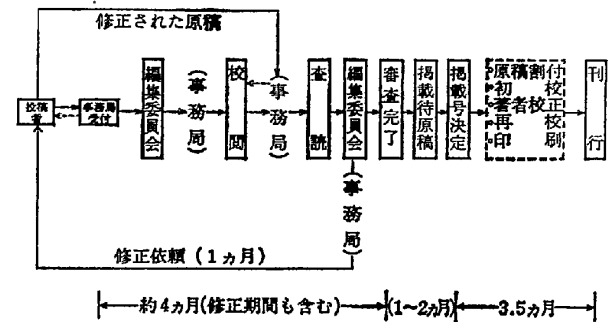


図. 原稿の流れ図